



ロータリー：
変化をもたらす

宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランテ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 榎木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2017)平成30年1月9日 No. 3227回 2017～2018年度(第23回会報)

会員数 105名 出席者 72名 出席率 74.2%

ビジター紹介（親睦活動委員会 矢治委員長）

遠藤玉久美松様、遠藤宏士様、山本藍堂様

会長挨拶（印出井敏英会長）



遅くなりましたけれど、皆様、明けましておめでとうございます。私の年度も年が改まりまして、いよいよあと半年という風になっております。前半はですね、サンラフェールからのソフィアとかエマとか、さんま祭りか、絆プロジェクトとか、たくさん対外的なことが多かったと思います。今度後半はですね、タイへ消防車を贈る、あるいはIM以外は、どちらかというところクラブの中の事業の方が非常に多いのかなという風に思っています。それからまた、今度は次年度の岡崎年度の準備の月でもありますので、いろいろその辺で皆様にご協力を仰ぐこともあるかと思えます。

私は昭和21年生まれで、今年成年で年男なんですね。まああの、犬が主人に忠実に尽くすように、私も残りの半年をですね、ロータリークラブのために尽くしたいと思っておりますので、今まで以上によりご協力、ご指導、ご高配を賜りますよう、お願いを申し上げます、新年のあいさつに代えさせていただきます。

それではですね、2018年から19年度・地区委員の委嘱状が届いておりますので、お名前を申し上げますので、呼ばれました方は前の方にいらしていただきたいと思っております。善林会員、よろしくお願いいいたします。委嘱状ですね、宇都宮ロータリークラブ、善林さん。貴殿に2018年から2019年度国際ロータリー第2550地区、国際奉仕委員長をご委嘱申し上げます。ということで、ガバナーから委嘱状が届いております。よろしくお願いいいたします。

続きまして熊本会員。同じくですね、2550地区、青少年交換委員を委嘱ということでガバナーから届いております。よろしくお願いいいたします。

続きまして永井会員。今日お休みですね。阿部会員お願いいいたします。あ、いましたはいはい、あーすみません。永井会員はですね、2550地区インターアクト委員長、危機管理委員を委嘱されております。よろしくお願いいいたします。阿部会員、お願いいいたします。2500地区ロータリー財団補助金小委員を委嘱ということで、委嘱状が届いております。よろしくお願いいいたします。

続きまして近藤会員、お願いいたします。第 2500 地区、諮問委員地区運営委員を委嘱ということで、委嘱状が届いております。よろしくお願いいたします。

続きまして、旭野会員。第 2550 地区ライラ委員の委嘱ということで、委嘱状が届いています。よろしくお祈りいたします。

続きまして、秋本会員。第 2550 地区、社会奉仕委員の委嘱ということで、届いています。よろしくお祈りいたします。

最後に草野委員。第 2550 地区、ロータリー米山記念奨学会選考委員を委嘱ということで届いています。1 年間、よろしくお祈りいたします。

以上の皆様、1 年間たいへんご足労ですけれども、よろしくお祈りいたします。

飯村幹事



おめでとうございます。年かわりまして、続きまして一生懸命幹事職務めさせていただきますので、あと半年間よろしくお祈りいたします。本日、1 月 9 日 11 時 30 分から当宇都宮東武ホテルグランデにおきまして、第 7 回になります理事会が開催されました。議事の内容としましては、会員数が 105 名、今入会申請者が 2 名おります。協議事項としましては、後から国際奉仕の善林委員長からご報告があると思いますが、消防自動車事業についての協議がなされました。あと国際交流委員会からの答申書が上がってまいりまして、理事会で少々協議をさせていただいております。あと、「意義ある業績賞」につきまして、地区に当クラブから熊本委員長中心になりまして、その事業に「意義ある事業賞」に申請をするということが理事会で承認されました。最後に、米山奨学生の世話クラブとして、18 年度・19 年度におきまして、うちのクラブが世話クラブになることを理事会で可決をされました。カウンセラーとしまして、昨年末から今年度・次年度の会長様から草野会員にお願いをしております、そのような形で進めていこうということになりました。

最後に報告事項ですが、1 月のロータリーレートは 114 円/US ドル。第 3 回目になります第 3 グループ A・B の会長幹事会が 3 月の 6 日に行われるという報告と、IM が 2 月の 24 日でございます。あと本日 4 時半から 5 時 45 分、「うをのぶ」さんにおきまして、第 4 回目になりますクラブ協議会が開催されますので、該当される方はクラブ事業報告書をご持参になりまして、遅刻されませんようにご参加いただきたいと思っております。新年会は例年通り、同じく「うをのぶ」さんにおいて 6 時から 8 時の予定で段取りがしてありますので、どうぞ奮ってご参加いただきたいと思っております。幹事からは以上です。

国際奉仕委員会善林委員長



皆様、明けましておめでとうございます。国際奉仕委員長の善林でございます。お正月早々、みんなおめでたい話で、私はどうも暗い話をしなきゃならないので、たいへん申し訳ないのですが、実は昨年度から事業推進しておりました消防自動車の案件で、グローバル補助金を申請をしておりました。地区の方は通って、残りは財団の方の申請待ちということで、1 月には返事が来るとのことだったんですが、1 月の 3 日にですね、私の方にメールが届きました。結果的に言うと、落ちまし

た。財団の方のお金はいただけなくなったということで、若干向こうのメールを読ませていただきますと、「ロータリー財団は日本の消防技術とテクニックを伝授する研修を支援することは高潔で価値のある目標であると認識しております。しかしながら本プロジェクトは TRF の重点分野の要件を満たしていないことから、グローバル補助金の受領資格がないという結論に達しました。本グローバル補助金は、水と衛生並びに経済と地域社会の発展の重点分野で提示され、干ばつに見舞われたタイの地域社会で頻繁に発生する火事に対処するための支援を提供することを目的にしています。この目標はたいへんすばらしいものですが、水と衛生の重点分野における要件は地域社会の人々が安全な水を利用できるようにすることや、衛生設備を向上させることとなっています。また経済や地域社会の発展の重点分野におけるプロジェクトの目標は、貧しい地域社会における貧困を軽減させることです。したがってこの二つの重点分野でのプロジェクトを成功させることは、これらの目的をどのように達成するかを明確にする必要があります。残念ながら消防車と消防訓練を提供するという活動は重点分野に沿っておらず、上記の目標を達成する方法ではないと判断をいたしました」ということで、私の方にはメールが来ておまして、消防自動車はグローバル補助金を断念せざるを得ないということになりましたが、本日の理事会で、ただこの事業は継続してやらせていただきますので、最低限、輸送だけをですね、最低輸送だけはしますので、もうすでに消防自動車はもうありますので、そういう事業だけ余計なものを全部削って、やらせていただくということで、理事会の方でもご承認をいただきましたので、消防自動車はタイの方に引き続き持つてはいきますが、ちょっと誠に残念でしたが VTT を絡めたグローバル補助金はもらえることができなかったということで、ご報告とさせていただきます。以上です。

ニコニコボックス委員会田中委員

ニコニコボックス委員の田中でございます。本日至りましたご奉仕の発表をさせていただきます。まずは奥様誕生祝いとして明賀一博会員、奥様誕生祝いとしまして久保井一臣会員、同じく奥様誕生祝いとしまして佐藤行正会員、その他としまして印出井会長、あと半年間よろしくお願い申し上げます。会出席祝いとしまして伊原会員、本人誕生祝いとしまして毛塚武久会員、50歳になりましたが50代を楽しんでいきたいと思っております。本人誕生祝いとしまして齋藤誠一会員、本人誕生祝いとしまして、秋本薫会員、本人誕生祝いとしまして石島洋会員、同じく本人誕生祝いとしまして明賀一博会員。あと結婚記念祝いとしまして太田会員、いつもありがとうございます。結婚記念祝いとしまして播摩会員。以上でございます。どうもありがとうございます。

プログラム委員会松本委員長



皆様、明けましておめでとうございます。プログラム委員長松本です。本日は前にもありますように、新春ということで邦楽ミニコンサートを企画いたしました。印出井会長のお知り合いでいらっしゃいます、お箏（こと）の先生をお呼びいたしまして、新春らしく邦楽の音楽をお楽しみいただくということでございます。簡単にお三方のプロフィールをご紹介いたします。遠藤玉久美松様、あ、あのお三方とも宇都宮市のご出身でいらっしゃいます。お

箏の遠藤玉久美松様。10歳より生田流坂本玉宏会の家元、故・坂本勉氏に師事されました。1962年、生田流箏曲・玉遠会を設立され、会主となりました。1964年、NHK邦楽技能者育成会10期をご卒業いただいています。現在、坂本玉宏会理事、栃木県三曲協会理事、凧の会会員でいらっしやいます。玉遠会設立以来、毎年定期演奏会を継続し、2013年に50回記念演奏会を実施されました。後進の指導育成と海外演奏や国内における演奏活動、また、国際交流を通して日本伝統の美しい音色、優雅な響きを世界中に届けていきたいとお考えでいらっしやいます。2017年5月、凧の会28回演奏会に出演され、宇都宮市教育委員会から教育支援者として感謝状が贈られています。

遠藤宏士様。生田流坂本玉宏会家元、故・坂本勉氏に師事されました。坂本玉宏会理事、生田流箏曲玉遠会理事長でいらっしやいます。理事長として会の発展に努め、宇都宮市主催のスクールコンサートおよび、県内各種講習会などで講師をお務めでいらっしやいます。また、海外演奏にも参加され、国際交流に尽力されていらっしやいます。

山本藍堂様。琴古流尺八師範でいらっしやいます。宇都宮市を中心に活動し、特に琴古流古典尺八を得意とされていらっしやいます。あの、虚無僧曲ですね。現在、栃木県三曲協会常任理事、宇都宮NHK文化センターの講師もお務めいただいております。

それでは遠藤先生、どうぞよろしくお願ひいたします。

遠藤氏



それでは、演奏に移らせていただきます。最初に「春の海」。皆様のお耳にはずっと通っている曲だと思いますけれども、これは我々の先生であった坂本勉先生のさらに先生、いうことで、言わずと知れた世界の宮城道雄、いうことでございます。特にこの「春の海」につきましてはですね、私たちもわずかにこうタッチできたというか、先生が、宮城先生が、実は私たちが教わりだしてから間もなくですね、列車事故で、東海道の、東海道線で列車事故で亡くなられてしまった。そんなたいへんな出来事がございました。たまたま私もその当時、勤務先が富士重工なものですんで、そこでバレーボールやってました。それで、その先生の事故の直後にですね、広島で全国大会がありまして、私その宮城先生が亡くなられた刈谷駅のところを通過して、広島へ向かったわけですが、その時にせっかくだからと思って、宮城先生の奥様宛てにお悔やみのお手紙を書いて、それで刈谷駅のここぞと思うところで、手紙と花輪を投下して参りました。そしたら、広島から帰ったら、うちに宮城先生の奥様のお手紙がございまして、礼状がありました。そんなことで話が通じたな一ということでしたわけなんです。そんなことで、まったく残念なこととして、宮城先生が亡くなられてしまったわけです。いう風なことで、帰ってからは今度、坂本先生が「さあ、これからどうするか」で、我々5人ごと集められて、何回か会議をやりまして、それで現在の坂本玉宏会という会を設立したわけですけども。その当座のことを思うとですね、非常に残念なことで言葉がありません。いうようなことで、坂本先生は頑張りに頑張りまして、宮城先生の後を継ぐような、立派な

先生になっておられると、こんな風に思っております。では、「春の海」に入りたいと思います。これはもう皆様ご存知のように、宮城先生の最大の傑作でしたが、一つだけなかなか知られなかったことがあるんですけども。この「春の海」は国際的にも非常に有名になりまして、それで宮城先生のお名前も世界的に知られるようになった。ということで、この宮城先生を訪ねてきたメニューヒンというバイオリニストが日本へ来まして、それで「春の海」を勉強したいと。というようなことで、宮城先生が直接ご指導された、ということで、その後「春の海」が国際的にたいへんな評判を呼んで、世界の「春の海」になった。そんな経緯があります。ということで、早速ですがその「春の海」に入らせていただきたいと思います。琴と尺八でございます。よろしく。

—演奏—

印出井会長

どうもありがとうございました。もっともっとお聞きしたいんですけども。えーと、84歳でしょうかね？ と、70・・・まあ、女性の言うのはあれですけどもね。あの、手先は脳に非常に刺激があるんですね。ですから病気から立ち直られて、こういう風にやられているという、やはりこういう風なことをやっていたからだと思います。まああの、本当はですね、宴会のところでやってほしかったんですけども、そこでやると皆さんお酒が入って、なかなかこう、心に響かないと思いましたので、今日ここで演奏していただきました。あの「春の海」もなかなか最初から最後まで聴ける機会というのはないんじゃないかと思いますね。ですからやはり我々は日本人で、こういう風な音楽を聴くと非常に心がこう落ち着くんだなあっていうのが、今日しみじみ感じました。どうぞ健康に留意されて、ますますご活躍をお祈りいたします。本日はどうもありがとうございました。

会報委員 増田 直樹
写 真加藤 雅敏